

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>令和元年 10 月 21 日発行</p>
---	-----------------------------------	---



ラグビー日本代表の快進撃に思う



校長 前田浩之

リーチマイケル，具智元，ヴァルアサエリ愛，トンプソンルーク…。ワールドカップのラグビー日本代表のメンバーには，日本人以外の名前が多く並びます。オリンピックとは違い，ワールドカップの日本代表の資格には，ルーツが日本にあるか，3年以上日本に住んでいればよいという規定があり，日本の実業団で活躍している多くの外国人選手が日本代表となっているのです。

肌の色や，目の色が違うメンバーが一体となり，日本初のベスト8をめざす。倒されてもすぐ立ち上がりラインに参加する。チーム内の規律を守り反則を犯さない。体の大きな相手に2人がかりでタックル。ボールをつないで，つないで，相手ゴールに必死で前進するスコットランド戦の姿に感動しない人はいなかったと思います。連帯感・団結心・折れない心！この多国籍のチームをまとめたジョセフヘッドコーチの手腕に感服するところでした。ロッカールームに武士の甲冑（かっちゅう）を置いたり，意味を考えながらチームメイトと肩を組んで国歌を歌うことに取り組んだり，歴代の日本代表キャプテンの工夫も実っています。

大坂なおみやサニ・ブラウン，八村塁など，世界で輝く日本人アスリートには外国人の血が入っています。大相撲の御嶽海にしても然り。急速なグローバル化の進展を感じます。そういえば大島地区中学校駅伝大会の一区のスタートラインには，肌や髪の色が違う中学生が複数いました。私が勤めた沖永良部の中学校では，ある学年の半数の生徒は，母親がフィリピン人の生徒でした。運動能力の高い生徒が多かったと記憶しています。

また，今回のワールドカップは日本の「おもてなし」の心と，各国代表の日本への敬意が話題となっています。スタンドへ向かい日本式のお辞儀をする各国代表や，キャンプ地のサポーターが該当国の国歌をおぼえていっしょに歌う姿。美しいと思います。さらに，中止になれば自動的に決勝トーナメント進出が決まる日本。スタッフは，台風19号の被害があったのにもかかわらず，早朝からスタジアムの準備を行い，スコットランド戦を実現しました。正々堂々とベスト8を勝ち取った日本代表だけではなく，それを支える組織の行動に日本の美しい心を見た気がします。ワールドラグビーのトップは，もう一度日本でワールドカップを行いたいと発言しているそうです。日本が世界のモデルになっています。平和の象徴，来年のオリンピックにも期待が持てます。

今，学校では27日に行われる文化祭に向けて，子どもたちが一生懸命に練習しています。「～みんなが主役 令和最初の星になれ～」のスローガンのもと，日本代表のような多国籍ではないけれども，多様な個性の集まりでもある子どもたちが，見に来てくださる方々を喜ばせたいという目標に向かって頑張っています。学級の一人一人がお互いに認め合い団結し，劇や合唱の練習や展示作品の作成に純粋に取り組んでいる姿。その姿に，運動会に引き続き文化祭も成功するだろうと，私は確信しています。市議会議員選挙の投票日と重なりますが，多くの方々のご来場をお願いします。

9月後半～子どもたちの様子

脱穀 (小)



西田集落の「びっこさらっこ」に参加 (小)



大島地区中学駅伝



生徒会役員選挙・立ち会い演説会 (中)



新生徒会役員

会 長 : 持永 彩星 副会長 : 程内 晴大

10月後半～11月前半 主な行事予定

10/24(木)	奄美市小学校陸上記録会
10/27(日)	文化祭 奄美市議会議員選挙投票日
10/28(月)	文化祭振替休日
11/ 1(金)	地震・防災避難訓練
11/ 6(水)	校内弁論大会 (中)
11/ 9(土)	土曜授業 シマグチ・シマ唄学習
11/13(水)	奄美市小中学校音楽発表会